



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 株式会社 千葉興業銀行 上場取引所 東
コード番号 8337 URL <https://www.chibakogyo-bank.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 梅田 仁司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 中村 遵史 TEL 043-243-2111
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
特定取引勘定設置の有無 無
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	15,207	9.3	3,480	137.4	2,385	100.0
2023年3月期第1四半期	13,902	13.3	1,465	△28.9	1,192	△48.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 6,897百万円 (—%) 2023年3月期第1四半期 △2,868百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	41.69	17.58
2023年3月期第1四半期	20.13	5.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,262,679	176,293	5.2
2023年3月期	3,180,129	170,718	5.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 171,884百万円 2023年3月期 166,476百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当行が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、P.3「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,200	△34.3	2,800	△41.3	48.93
通期	9,500	△1.7	6,300	△2.7	92.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	62,222,045株	2023年3月期	62,222,045株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	4,965,362株	2023年3月期	4,994,313株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	57,227,979株	2023年3月期1Q	59,246,111株

（注）当行は株式給付信託制度を導入しており、当該信託が所有する当行株式は自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において当行が入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当行として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、国内外の経済情勢、株式市場等の状況変化等がありますが、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

「種類株式の配当の状況」

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る年間配当金の内訳は以下のとおりです。

第二種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	104.00	104.00
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		—	—	104.00	104.00

第2回第六種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	300.00	300.00
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		—	—	300.00	300.00

第1回第七種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	900.00	900.00
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		—	—	900.00	900.00

第2回第七種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	9,000.00	9,000.00
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		—	—	9,000.00	9,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 5
(継続企業の前提に関する注記)	P. 5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 5
3. 2024年3月期第1四半期決算 補足説明資料	P. 6
(1) 損益の状況【単体】	P. 6
(2) 預金、投資信託等、貸出金等の残高【単体】	P. 7
(3) 時価のある有価証券の評価差額【連結】	P. 7
(4) 自己資本比率（国内基準）【単体】【連結】	P. 8
(5) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権【単体】	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期のおが国経済は、個人消費や設備投資の持ち直しや新型コロナウイルス感染症からの経済正常化による業況改善等から経済活動に緩やかな回復の動きは見られたものの、経済の好循環の起点となる賃上げが物価上昇に追いついていない状況等、依然として課題も多く残っております。当行グループが営業基盤とする千葉県におきましても、景気は緩やかな持ち直しを維持しておりますが、全国と同様に今後の見通しについては不安定さが残るといえます。

このような経営環境のなか、当行は2022年4月にスタートさせた中期経営計画「幸せデザイン 絆プロジェクト 2025 ～ CKBコミュニティ確立に向けて 1st ステージ～」に基づき、各種施策を積極的に展開してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当行グループの経営成績は次のようになっております。

経常収益は、前年同期比13億5百万円増加の152億7百万円となりました。経常費用は同7億9百万円減少の117億27百万円となっております。

これらにより、経常利益は前年同期比20億14百万円増加の34億80百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は同11億93百万円増加の23億85百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末比825億円増加の3兆2,626億円となりました。また、純資産は同55億円増加の1,762億円となっております。

主要勘定の残高は次のとおりです。預金は前連結会計年度末比758億円増加の2兆8,976億円となりました。また、貸出金は同73億円増加の2兆3,616億円、有価証券は同106億円減少の4,889億円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
現金預け金	261,918	346,583
買入金銭債権	97	97
商品有価証券	89	95
有価証券	499,635	488,952
貸出金	2,354,293	2,361,673
外国為替	3,174	3,271
その他資産	40,289	40,651
有形固定資産	19,033	18,850
無形固定資産	2,704	2,785
繰延税金資産	1,117	243
支払承諾見返	6,463	7,827
貸倒引当金	△8,687	△8,354
資産の部合計	3,180,129	3,262,679
負債の部		
預金	2,821,828	2,897,653
譲渡性預金	129,700	129,700
借入金	21,830	21,244
外国為替	128	39
その他負債	25,533	25,091
退職給付に係る負債	3,420	3,393
役員退職慰労引当金	33	27
株式給付引当金	105	119
睡眠預金払戻損失引当金	70	47
繰延税金負債	296	1,242
支払承諾	6,463	7,827
負債の部合計	3,009,410	3,086,386
純資産の部		
資本金	62,120	62,120
資本剰余金	6,971	6,971
利益剰余金	92,795	93,846
自己株式	△2,350	△2,338
株主資本合計	159,536	160,600
その他有価証券評価差額金	7,291	11,645
繰延ヘッジ損益	47	△3
退職給付に係る調整累計額	△398	△358
その他の包括利益累計額合計	6,940	11,284
新株予約権	122	122
非支配株主持分	4,119	4,286
純資産の部合計	170,718	176,293
負債及び純資産の部合計	3,180,129	3,262,679

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
経常収益	13,902	15,207
資金運用収益	7,124	7,466
(うち貸出金利息)	5,375	5,580
(うち有価証券利息配当金)	1,500	1,628
役務取引等収益	2,595	3,200
その他業務収益	678	28
その他経常収益	3,503	4,512
経常費用	12,436	11,727
資金調達費用	55	218
(うち預金利息)	41	34
役務取引等費用	1,072	1,060
その他業務費用	2,273	269
営業経費	6,244	6,625
その他経常費用	2,790	3,552
経常利益	1,465	3,480
特別損失	0	8
固定資産処分損	0	8
税金等調整前四半期純利益	1,465	3,471
法人税、住民税及び事業税	117	1,258
法人税等調整額	104	△178
法人税等合計	221	1,079
四半期純利益	1,243	2,392
非支配株主に帰属する四半期純利益	50	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,192	2,385

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,243	2,392
その他の包括利益	△4,111	4,505
その他有価証券評価差額金	△4,161	4,515
繰延ヘッジ損益	—	△50
退職給付に係る調整額	49	40
四半期包括利益	△2,868	6,897
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,975	6,729
非支配株主に係る四半期包括利益	106	167

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 2024年3月期第1四半期決算 補足説明資料

(1) 損益の状況【単体】

【業務粗利益等】

役務取引等利益は投資信託等の販売や法人関係手数料が好調であり前年同期比6億円増加しました。また、その他業務利益は国債等債券関係損益による損失が減少し、同13億円改善しました。この結果、業務粗利益は同20億円増加しております。

業務純益は人件費および物件費等の経費が同3億円増加したことにより、同17億円増加の29億76百万円となりました。また、コア業務純益は同3億円増加(+10.9%)の32億16百万円となっております。

【経常利益】

減益要因となる不良債権処理額が前年同期比5億円増加した一方、増益要因となる株式等関係損益が同12億円増加したこと等により、臨時損益は同3億円の増加となりました。この結果、経常利益については同20億円増加(+109.3%)の38億70百万円となりました。なお、2024年3月期第2四半期業績予想(経常利益44億円)に対する進捗率は87.9%となっております。

【四半期純利益】

法人税等合計が税引前純利益の増加等により8億円増加した結果、四半期純利益は前年同期比11億円増加の28億90百万円となりました。なお、2024年3月期第2四半期業績予想(中間純利益32億円)に対する進捗率は90.3%となっております。

(単位：百万円)

	2024年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	前年同期比
業務粗利益 (除く国債等債券関係損益)	9,419 (9,659)	7,345 (8,985)	2,074 674
資金利益	7,891	7,817	74
役務取引等利益	1,768	1,122	645
その他業務利益	△241	△1,595	1,353
経費(除く臨時処理分) (△)	6,443	6,087	355
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	2,976	1,257	1,718
コア業務純益	3,216	2,897	318
除く投資信託解約損益	2,356	2,381	△24
一般貸倒引当金繰入額 (△)	(△38)	(△253)	(214)
業務純益	2,976	1,257	1,718
国債等債券関係損益	△240	△1,639	1,399
臨時損益	894	590	303
不良債権処理額 ① (△)	1,241	688	553
うち個別貸倒引当金繰入額 (△)	(△166)	(△221)	(55)
貸倒引当金戻入益 ②	205	474	△269
償却債権取立益 ③	95	126	△30
株式等関係損益	1,827	535	1,291
経常利益	3,870	1,848	2,021
特別損益	△8	△0	△8
税引前四半期純利益	3,861	1,848	2,013
法人税等合計 (△)	971	100	871
四半期純利益	2,890	1,747	1,142
貸倒償却引当費用 (①-②) (△)	1,036	213	823
実質信用コスト (①-②-③) (△)	941	87	853

(注) 1. 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. コア業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)-国債等債券関係損益
 3. 2024年3月期第1四半期および2023年3月期第1四半期においては、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を貸倒引当金戻入益に計上しております。

(2) 預金、投資信託等、貸出金等の残高【単体】

①預金、投資信託等預り資産

預金残高は前年同期比 279 億円増加 (+0.9%) の 2 兆 9,091 億円となりました。このうち、個人預金は同 61 億円増加 (+0.2%) の 2 兆 1,421 億円となっております。
 預り資産残高では、投資信託等の残高が同 167 億円増加 (+11.9%)、年金保険等の残高が同 211 億円増加 (+10.0%) しております。

	(単位：億円)			(参考) (単位：億円)
	2023年6月末	2022年6月末	前年同期比	2023年3月末
預 金	29,091	28,811	279	28,342
うち 個人預金	21,421	21,360	61	21,223
譲渡性預金	1,297	1,297	—	1,297
公 共 債	104	106	△1	108
投資信託等	1,573	1,405	167	1,465
年金保険等	2,310	2,098	211	2,252

②貸出金

貸出金残高は、中小企業等貸出を中心に増加を図り、前年同期比 698 億円増加 (+3.0%) の 2 兆 3,649 億円となりました。

	(単位：億円)			(参考) (単位：億円)
	2023年6月末	2022年6月末	前年同期比	2023年3月末
貸 出 金	23,649	22,950	698	23,567
うち 住宅ローン	8,232	8,565	△333	8,311
中小企業等貸出	20,957	20,301	656	20,889

(3) 時価のある有価証券の評価差額【連結】

	(単位：億円)								(参考) (単位：億円)			
	2023年6月末				2022年6月末				2023年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
うち益		うち損		うち益		うち損		うち益		うち損		
その他有価証券	4,544	172	306	134	4,907	146	245	99	4,650	107	256	148
株式	399	289	291	1	361	228	232	3	363	240	243	3
債券	2,746	△30	2	33	2,857	△23	3	27	2,771	△37	1	38
その他	1,397	△86	13	100	1,689	△58	9	68	1,515	△95	11	107

(注)なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

	(単位：億円)								(参考) (単位：億円)			
	2023年6月末				2022年6月末				2023年3月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
うち益		うち損		うち益		うち損		うち益		うち損		
満期保有目的の債券	318	1	2	0	327	0	0	0	319	1	1	0
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(4) 自己資本比率 (国内基準)

2023年6月末における銀行単体の自己資本比率は、前年同期比0.38ポイント上昇し8.92%となりました。また、連結の自己資本比率も同0.37ポイント上昇し9.09%となっております。

【単体】

(単位：百万円) (参考) (単位：百万円)

	2023年6月末	2022年6月末	前年同期比	2023年3月末
①自己資本比率 (%)	8.92	8.54	0.38	8.67
②コア資本に係る基礎項目	158,759	155,867	2,891	155,901
③コア資本に係る調整項目	1,729	1,806	△77	1,692
④自己資本 ②－③	157,030	154,060	2,969	154,208
⑤リスクアセット	1,759,392	1,802,529	△43,137	1,777,898

【連結】

(単位：百万円) (参考) (単位：百万円)

	2023年6月末	2022年6月末	前年同期比	2023年3月末
①自己資本比率 (%)	9.09	8.72	0.37	8.86
②コア資本に係る基礎項目	163,852	161,263	2,589	161,470
③コア資本に係る調整項目	1,950	1,997	△46	1,880
④自己資本 ②－③	161,902	159,265	2,636	159,590
⑤リスクアセット	1,779,684	1,824,481	△44,797	1,799,436

(5) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権【単体】

金融再生法に基づく不良債権額は、前年同期比41億円増加の432億円となりました。また、総与信残高に占める不良債権額の割合（不良債権比率）は、同0.12ポイント上昇し1.79%となっております。今後とも地元企業の経営課題解決支援に取組み、お取引先企業の経営改善を積極的にサポートし、恒久的な金融円滑化に取組んでまいります。

(単位：億円) (参考) (単位：億円)

	2023年6月末	2022年6月末	前年同期比	2023年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	52	47	5	51
危険債権	331	308	22	342
要管理債権	48	35	13	38
うち三月以上延滞債権	1	1	0	5
うち貸出条件緩和債権	46	34	12	32
合計 ①	432	391	41	432
正常債権	23,637	22,987	649	23,541
総与信残高 ②	24,070	23,378	691	23,973
不良債権比率 (%) ①／②	1.79	1.67	0.12	1.80

以上